



特定非営利活動法人姫路コンベンションサポート

年次報告書2025



も く じ

P3 2025年度総括

P5 情報提供事業

P8 公共施設の運営指定管理者業務に関する事業

P10 管理部門

P12 2026年度事業計画

P14 Our Company

P4 人材育成事業

P6・7 調査研究、普及啓発

P9 起業支援、事業承継マッチング支援事業

P11 決算報告

P13 NEXT STAGE

P15 Our History





2025年総括

「地域とつながる事業の深化」

NPO法人の事業には、法人のミッション（存在意義・目的）を達成するための「自主事業」と行政・企業から事業受託する「委託事業」の2つがあります。委託事業で一定の利益を確保したものを財源とし、社会の課題解決のための自主事業を行うことが望ましいとされています。

当法人の自主事業に代表するものは、姫路城英語ガイド派遣とガイドの養成があります。さまざまなお客様に満足いただけるようなツアーガイドを育成したいとガイド向け講座にも積極的に取り組みました。

ガイド養成は西播磨地域の山城の観光ガイド養成の第2クールを開始。英語ガイド事業に続く地域人材育成の柱として取り組んでいます。

特筆すべきは、2025年度に新たに「はりまオープンファクトリー市播」を始めたことです。播磨のものづくりの技術を次の世代に伝えたいと、有志たちとともに実行委員会を設立し開催しました。法人のメインの事業となるよう多くの人と連携をとり盛り上げていきたいと考えています。

これら事業を推進するためには、法人の人材育成が何より必要です。AIなどのデジタル技術の進化は目覚ましく、これらを業務に取り入れ最適化を図ることが求められています。

2027年に設立25周年を迎えます。次世代への継承を視野に入れ、法人の世代交代と継続を考えた組織づくりにも注力します。

人材育成事業

「人材発掘、養成、団体の設立、活動支援」の一環した取り組みで、まちづくりのプレイヤーをサポート。



西播磨山城ガイド養成講座 / 西播磨県民局

西播磨地域に点在する山城をテーマにした観光ガイド養成講座を新たに開講した。地域資源を活かした観光振興の担い手づくりを目的に、歴史・文化の知識習得と実地研修を組み合わせたプログラムを実施した。

日 程 2025/8～2026/3、全15回（座学＋登城研修）。



英語ガイド養成講座 / 自主事業

「姫路城英語ガイド養成講座」と、登録ガイド及び養成講座の修了生を中心とした「知恵の和」を開催した。

日 程 2025/8～2026/3、全15回（座学＋登城研修）。

●姫路城英語ガイド養成講座

実地研修と実践を組み合わせ、「2時間で姫路城を案内できるガイドの育成」を目的とした全6回の講座を実施した。修了生は累計で60名を超えた。

日 程 全6回：8月2日（土）～10月4日（土）

参加人数：23名

●知恵の和

- 英語で語る日本酒の味わい
- 好古園『御屋敷の庭』魅力と作庭秘話
- BENTOを世界に
- 姫路城の漆喰と左官技術
- 特講「過去から受け継ぎ、未来へと届ける文化財～仏像の保存修復を通じて～」
- 現代に続く酒井家の文化
- 樹木医と歩く好古園（樹木と花）

高校生と企業の新ビジネスに繋がるアイデアカフェ事業

/ 中播磨県民センター



高校生が企業とともにビジネスの手法で起業の課題を解決する事業で、今年で3回目となる。今年は16名の高校生と3企業が参加した。

7月26日（土）～9月11日（木）

●導入セミナー

小沢貴史先生 / 大阪公立大学大学院教授

山本達也 / デジタルの窓口

●ワークショップ 各チーム4回

●最終イベント ピッチコンテスト

情報提供事業

週替わりアンテナショップ電博堂の運営 / 自主事業

「商店街でのアンテナショップ事業を継続。物販・展示販売・飲食など多様な業種が利用し、チャレンジショップとしての活用も進んでいる。今年度からシーズナル料金制にしたり、料金もアップしたりしたが、稼働率は80%（52週中、42週を利用）と好調である。

一方で、アンテナショップ改装から10年が経過し、設備の経年劣化や利用者の固定化が見受けられるなどすることから、新しい事業展開をすべく次年度に向けて研究中である。



●2027年のアンテナショップ展望

2004年4月28日。姫路コンベンションサポートの事務所として、御幸通商店街にオープンした「情報発信ひろめ屋 電博堂」は、その名前と外観で、かなりの知名度を上げることができました。ここを舞台にまちづくりイベントを開催したり、観光情報を発信したりとまちづくりの拠点として活躍できたのではと思っています。法人設立25年となる2027年には、再びこの場所をまちづくりに活用していきたいと考えています。

調査研究事業

姫路城下町観光アプリ開発事業

姫路観光コンベンションビューローの観光産業活性化重点支援事業の補助を受けて実施。最終年度となる今期は、YOUTUBEのターゲット配信による関心度調査と、アプリの利用者拡大に向けた付加価値拡大の取り組みを行った。3か年で約1,700万円の全額補助を受けて実施した。

普及啓発事業

姫路城ガイド派遣

前述のガイド養成講座、ガイドブラッシュアップセミナーとの3本柱で実施する英語ガイド事業。姫路城や好古園を巡る短時間の固定型ツアーに加え、来訪者の要望に応じたオーダーメイドの旅行プランを提案し、姫路での長時間滞在を促進。質の高いガイドサービスを提供し、顧客満足度の向上と売り上げの増加を図った。

姫路コンベンションサポート・英語ガイド事業の成長スパイラル

背景

優美な姫路城と好古園



育てる

ガイド養成講座

- ・語りすぎない“引き算”のガイド
- ・ドイツ語、スペイン語、中国語にも対応できる受講生
- ・全国各地からの受講生
- ・修了生60名を突破



深める

勉強会「知恵の和」

日本の精神を海外の人に伝承すべく、より極めた講座を展開。2025年度は7回の講座を実施した。



届ける

ガイド派遣

姫路城、好古園の固定ツアーに加え、オーダーメイドの旅程もご提案。ハイエンドに喜ばれるガイドメニューを提供。

事務局業務

●大手前通り街づくり協議会「ほこみち業務」事務局

「ほこみち」は“歩行者利便促進道路”として国土交通省が指定。大手前通りは全国初のほこみちエリアとして令和3年2月に選定された。現在では、171か所が指定されている。事務局の役割は、ほこみちエリアのイベントエリアの受付と相談などを請け負う。

●はりまオープンファクトリー市播実行委員会事務局

播磨のものづくり産業を次世代に伝えたいと有志達が集まって実行委員会を結成。2025年11月に、姫路市大津区～太子町を中心に開催した。初年度は9社が参加。参加者は300名だった。今後10年間は引き続き開催することを目標とし、活動を続けていきたい。

□開催日程 2025年11月28日・29日

□場 所 姫路市大津区・網干区・太子町

□参加企業 虹技株式会社・濱中製鎖工業株式会社・旭陽化学工業株式会社・株式会社みつヴィレッジ・網干湊倶楽部・株式会社本田商店・株式会社本田冷蔵・合同会社太子みそ加工・神戸マッチ株式会社（順不動）

オープンファクトリーとは

オープンファクトリーとは、**作り手が現場を公開し、お客様に体験してもらう**取り組みです。普段は、お客さまを招き入れることのない仕事現場を公開し、交流を行うことで、自社の強みを新に感じることができます。来場者にとっても、普段見ることができないものづくりの現場を見ることは、何よりのエンターテインメントであるとともに、地域産業の価値を見直すことができます。このような効果を地域課題の解決に生かしたいと、すでに十数年前から全国70か所以上で取り組まれています。

古くは弥生時代からものづくりが盛んであったと言われる播磨でも、オープンファクトリーを開催し、他に類を見ない技術と伝統を後世に伝えたいと、実行委員会を立ち上げました。

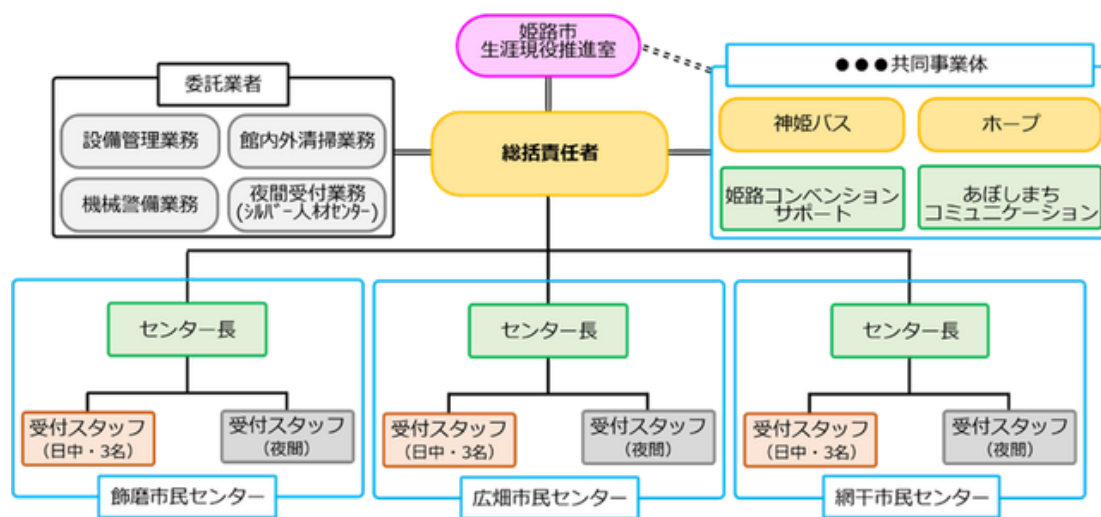


公共施設の運営、指定管理者業務に関する事業

姫路市市民センター5館の運営

当社が手掛ける市民センター運営は14年目に入った。指定管理業務を行うことで、安定した収益を確保し、NPO法人がやるべき自主事業を実施することができる。

一方で、姫路市は公共施設の縮小を計画しており、従前の市民センター業務だけで満足することなく、新しい施設にもチャレンジしたい。そのためにも、法人の総務・人事機能を強化し、マネジメント能力の高い人材の育成にも取り組みたいと考える。



●姫路市地区市民センター（飾磨・広畑・西・東・灘）指定管理者業務 / 姫路市

神姫バスグループとの共同事業体で受託している指定管理者業務の第2期（2025年度～）が始まった。2024年度の再選を受け、引き続き5市民センターの運営を担う。

9月より、飾磨市民センターが大規模改修のため閉館。2027.04再オープンに向けて準備を整える。

本年度は、オリジナルプランで様々な講座を開講した。

特に、英語ガイド養成講座とコラボし、「英語で作るスコーン教室」は本場英国のスコーンレシピと英語での料理教室とあって、すぐに満席となった。

また、東市民センターと西市民センターの2館で「教養講座発表会」が催され、各講座の発表会を開催した。



スコーン教室



教養講座発表会



こども陶芸教室

起業支援、事業承継マッチング支援事業

起業プラザひょうご姫路の運営 / ひょうご産業活性化センター

起業プラザの運営が5年目を迎え、起業家フェーズも様々なものになった。相談内容も多岐にわたり、創業前支援から、企業とのマッチングなども行いました。セミナーや勉強会、起業家の交流の場としての「ピッチバー」など開催したイベントは約50回に及びます。

2026年9月末を持って、起業プラザひょうご姫路は閉館となり、創業支援機能を神戸に集約することとなりました。今後は新規事業創出を加速する取り組みを行うことから、2月には「新規事業開発セミナー」を開催するなどし、その必要性などを広めました。

2025年度開催セミナー

24講座

2025年度開催交流会

23回



セミナー



交流会「ピッチバー」



新規事業開発セミナー

オープンイノベーションとその必要性

「企業の新しい事業展開を考えなくては」

事業会社の経営者なら、誰もが考えることです。ただ、一から基礎研究・開発を行う従来のモデルでは、変化の早い市場ニーズに間に合いません。自社アセットの再定義と自社の強み（量産ノウハウ、データ、既存の顧客基盤など）を、異業種や先端技術を持つスタートアップ企業等のアイデアと掛け合わせることで新たな高付加価値を生み出せます。これからは「自社で抱え込むリスク」よりも「外部と組んでスピードを上げる恩恵」の方が圧倒的に大きくなる時代だと言われています。

起業プラザひょうご姫路は、クローズとなりますが、2026年10月からは播磨の事業会社の支援に移行していきます。

管理部門

この5年間で私たちを取り巻く環境の変化は目覚ましいものがあります。

「働き方改革」という名の元、なかなか進まなかった在宅勤務も、コロナ禍でリモートワークが一挙に進みました。オンライン会議も当たり前、去年まではAIの是非を問われていましたが、今年はすでに「AIは欠かせないもの」に変わっています。

時代の変化を取り入れ、省力化とそれによるミスの削減をめざす————。

姫路コンベンションサポートでも、2025年は、段階的にDXを行いました。これまで人に蓄積していたノウハウをアウトプットするツールを作成。書類の共有はもちろんのこと、プロセスなども見える化し、少しずつではありますが、業務改善を行っています。



脱俗人化・ナレッジ化

個々の能力を生かしつつ、その能力だけに頼る仕事にしないよう、ノウハウを蓄積するツールを開発した。

●案件一元管理

顧客情報、仕入、外注費、折衝記録を一つの画面に集約。

●バックオフィス連携

案件データで1つの事業の進捗を管理。「見積書」「請求書」もワンクリックで生成。

●ワークフロー

承認・決裁もシステム内で完結し、ペーパーレスを実現。

●稼働費算出ツール

社員の工数を入力し、案件ごとの利益をリアルタイム可視化。

●GASによるイベント一元管理

複数イベントの申込を自動集約し、担当外でも即座に状況把握・対応が可能。

●工数削減

受付から名簿作成までのルーチンワークを90%削減。

NPO・小規模事業者向けソフトの開発

今年度開発したDXツールを、他社にも応用することができるよう、一般化した。案件別で見積もりから請求、途中工程まで管理ができるため、小規模事業者の管理ツールとして販売を計画。省力化を目指したい企業にPRしたい。

活動計算書

決算報告 【簡易版】

科目	2025年度実績
経常収入	
事業収入	77,369,586
入会金収入	10,000
正会員収入	46,800
賛助会員収入	47,400
補助金収入	14,841,883
寄付金収入	501,600
受取利息	290
経常収入計	92,817,559
経常費用	
事業費	
事業費計①	54,089,535
管理費	
管理費計②	27,985,127
当期経常費用計①+②	82,074,662
税引前当期正味財産増減額	10,742,897
法人税等	1,297,500
当期正味財産増減額	9,445,397
前期繰越正味財産額	36,962,922
次期繰越正味財産額	46,408,319



貸借対照表

科目	2025年度実績	科目	2025年度実績
I 資産の部		II 負債の部	
1. 流動資産		1. 流動負債	
現金	571,902	未払金	5,060,009
普通預金	45,794,399	前受金	401,300
売掛金	10,604,561	預り金	2,489,379
前払費用	55,953	未払法人税等	1,639,700
立替金	274,604	未払消費税等	1,710,000
流動資産合計	57,301,419	流動負債合計	11,300,388
2. 固定資産			
有形固定資産	1,996,398	III 正味財産の部	
無形固定資産（ソフトウェア）	5,596,025	前期繰越正味財産	47,868,914
投資その他の資産	25,450	当期正味財産増減額	5,749,990
固定資産合計	7,617,873	正味財産合計	53,518,904
資産の部 合計	64,919,292	負債及び正味財産合計	64,919,292

2026年 PLAN

2026年の取り組み

姫路コンベンションサポートを設立して24年目を迎えます。2027年には25年の節目の年を迎えることから、次の25年を紡いでいくための組織作りを強化します。これからの時代に、私たちの強みをどう生かしていくのか。若い世代がやってみたいと思うことも積極的に実践し、自主事業にも取り組んでいく予定です。「姫路コンベンションサポート」らしさとは何かを追求し、リブランディングを行います。



● 人材育成事業

英語ガイド、山城ガイドに代表される人材の育成を行う。また、中間支援団体として、地域団体の運営の助言アドバイスも行う。

● マッチング事業

起業プラザひょうご姫路が9月末で閉館し、オープンイノベーションを推進するネクストステージへ移行する。創業支援に加えて、支援機関の連携強化も実施する。はりまオープンファクトリー市播も2年目を迎え、より広がりを持たせた展開を推進する。

● 指定管理事業

姫路市市民センター5館の運営を行う。自主事業も多く企画し、センターでのコミュニティ形成も行いたい。次なる指定管理施設も視野に入れる。

● 25周年にむけての準備

25周年事業の計画を立て、その準備を行う。多くの人を巻き込み、まちづくりの新しい形を提案すべく、調整を行う。

● 2026年度予算

科目	予算額
経常収入	95,870,000
経常費用	
事業費	43,000,000
管理費	45,888,120
収支差額（税引き前）	6,981,880

NEXT STAGE

未来へつづく法人であるために

NPO元年と言われた阪神淡路大震災から35年。NPO業界を牽引してきた人たちが世代交代を始めました。2027年には設立25年を迎える姫路コンベンションサポートも、先の25年を見据え、どのような役割を担うことができるのかを見つめなおすタイミングを迎えています。

ニーズをとらえ、チャレンジするファーストペンギンでありたい。

時代の流れをとらえ、新しいことにチャレンジするマインドを持ち続けたいと考えています。法人のミッションである「まちを元気にしたい人をサポートする」形には、さまざまなものがあります。社会課題とニーズ、自分たちの能力と「やってて楽しい!」「参加して楽しい!」と思える“斬新な”アイデアを創出していききたいものです。

温故知新～文化を次世代につなくランナーでありたい。

なんども訪れたいと思うまちには、文化があります。古くからの歴史、文化や伝統を敬い、その学びから次世代の人材を育成したり、育んでいこうとする人たちと関わりを持つ。それこそが、まちづくりの第一歩であると考えています。

偶然の出会いを必然に

1か月に何人の方と名刺交換をするでしょうか。出会った方が、通りすがりの人にならないように、顧客データを可視化。スタッフと自然に出会った方とのご縁が、法人の宝となるようにDX化も進めていきます。





ABOUT OUR COMPANY

役員

理事	石井（玉田）恵美	姫路コンベンションサポート 理事長
	東夏子	姫路コンベンションサポート 事務局長
監事	小川亮一	株式会社マルタ産業 取締役会長
	梶浦（広岡）磨璃	神戸新聞社 ミライ・イニシアチブ室（編集委員兼務）
	鎌谷正弘	株式会社カマタニ
	藤原正彦	株式会社藤原園
	香山晃子	Beyond社会保険労務士法人 代表社員
	原昇平	税理士法人信和総合会計事務所 代表社員

顧問

岡本一	株式会社大陸 代表取締役社長
齋木俊治郎	山陽色素株式会社 会長
佐賀とも子	オフィスありがとう 代表

職員

依田法子（主任）	萬川領一（所長）	炭崎徹（所長）
高見千晴	川路陽子	岡本富久子
浅田理沙	政谷雅代	菅原真弓
平野明音	元原純子	中堀智香
荒井ひろ子		
土師振一郎（所長）	石井裕之（所長）	北野弘司（所長）
網引一博	秋定宣子	宮本司
高見和志	東山喜美子	三好真奈美
船越敏之	丸山由美子	吉田美紀

OUR HISTORY

1

2000 黎明期

2000年6月 ひめじ良さ恋まつり実行委員会設立
8月 第1回ひめじ良さ恋まつり
2001年 5月 第2回ひめじ良さ恋まつり

ボランティア団体として発足



2002年7月8月
特定非営利活動法人設立

2003年4月28日 御幸通商店街に電博堂オープン
2004年 はりまでギネス
第一回お夏清十郎節全国大会

3

2010 発展期

指定管理業務で経営基盤を盤石に

2010年7月 姫路港開港50周年記念関連事業
10月 姫路大道芸フェスティバル
2011年8月 福崎町制55周年人情喜劇
柳田國男と河童
11月 B-1グランプリ関連イベント
2012年4月 指定管理者業務
(広畑・飾磨市民センター)
2013年4月 元町週末マルシェ事業
11月 姫路市南町76番地に事務所移転
2014年4月 姫路市勤労市民会館指定管理業務
ふるさと穴栗PR館「きてーな穴栗」
5月 コワーキングスペース電博堂

成長期 2005

2

銀の馬車道を題材に地域と連携

2005年 日本青年会議所全国大会姫路大会
2006年8月 外国人向け観光ガイドプロジェクト始動
9月 のじぎく兵庫国体関連事業
11月 姫路城英語ボランティアガイド養成講座
2007年8月 人情喜劇銀の馬車道劇団設立 (10月初公演)
2008年4月 姫路菓子博2008
2009年7月 銀の馬車道アンテナショップオープン
11月 たまちゃん街の駅オープン

発酵期 2015

4

アンテナショップ経営から中山間の活性化

2015年4月～指定管理業務
(西・東・灘市民センター)
2016年7月～きてーな穴栗リニューアルオープン
2017年2月 小泉武夫講演会
2018年 我がまちの人情喜劇銀の馬車道～
演劇が生んだ地域のつながり 出版
2019年8月 日本遺産銀の馬車道・鉱石の道高校生フ
ォーラム

5

2020 転換期

社会課題を技術力で解決する産業支援へ

2020年7月 起業プラザひょうご姫路オープン
10～3月 西播磨山城上質ガイド養成講座
2021年10月 銀馬車かぼちゃグルメプロジェクト
2022年7月 高校生のための起業セミナー
2023年1月 自動運転ロボットを使った観光商品
開発事業開始
3月 女子高生SDGsサミット2023
2024年 姫路城下町ガイドアプリ実証実験

未来創造期 2025

6

2025年11月 はりまオープンファクトリー市播2025
2026年 オープンイノベーション事業



NPO法人

姫路コンベンションサポート 

2026.7